

公益財団法人日本国際フォーラム設立30周年記念シンポジウム
「パワー・トランジション時代の日本の総合外交戦略」
河野太郎外務大臣祝辞

公益財団法人日本国際フォーラムが設立30周年を迎えましたことを、心からお祝い申し上げます。

日本国際フォーラムは、私の外務大臣としての大先輩である大来佐武郎先生が初代会長を務められ、これまで30年にわたり、多くの国際問題について調査、研究、討論、交流、提言などを行い、国内外の世論をリードするとともに、日本と外国の相互理解を促進してきました。こうした活動に改めて敬意を表します。

現在、世界は国際秩序を揺るがす様々な課題に直面しています。

北朝鮮による度重なる核実験や弾道ミサイルの発射は、今や国際社会全体に対するこれまでにない重大かつ差し迫った脅威になっています。

中国の経済成長は世界にチャンスをもたらしてきました。その一方で、中国は急速かつ不透明な形で軍事力増強を図り、世界各地で力を誇示しつつあります。

テロ対策も大きな課題です。テロは、中東・アフリカのみならず、欧州、さらには東南アジアにも拡大しています。

経済面では、格差の拡大、雇用の喪失、移民の増加への不安が保護主義の台頭や内向き傾向を勢いづかせています。

さらに、サイバー攻撃の高度化・複雑化は凄まじいスピードで進行し、経済活動や民主制度の基盤を蝕みつつあります。

こうした国際秩序の変動期にあって、日本は世界の「フォロワー」であってはなりません。国際社会の変動に機敏に反応し、世界に平和と繁栄をもたらすべく、日本こそが世界の「道しるべ」になっていかなければなりません。

そのためにも、官民がしっかり連携し、オールジャパンで叡智を集結することが求められます。

本日のシンポジウムでは、日本を代表する有識者の方々の御出席の下で、「パワー・トランジション時代の日本の総合外交戦略」をテーマに、構造転換期にある国際社会のメガトレンドを4つの切り口から議論すると伺っています。日本国際フォーラムのe-論壇の題名である「百花斉放」の精神に基づき、日本外交のあるべき姿について自由闊達な議論をしていただければと思います。

最後になりますが、日本国際フォーラムの更なる発展を祈念して私の御挨拶とさせていただきます。

平成29年11月1日

外務大臣

河野 太郎